

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0441

(注)本稿は 2018 年 5 月 10 日から 25 日まで 6 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2018.5.29
前田 高行

大きく順位を下げたサウジアラビア: MENA(中東・北アフリカ)諸国の経済自由度(2018年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その7)

目次	頁
1. 「The 2018 Index of Economic Freedom World Rankings」について	2
2. MENAトップの UAE は世界10位	2
3. 分野(Pillar)別の順位	3
4. 主要国の世界順位の変遷(2014~2018年)	6
5. サウジアラビア、UAE、トルコ、エジプト、イランと日米中の比較(レーダーチャート)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですがその他の多くはスンニ派の政権国家です(*)。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第7回の MENA ランキングは、米国のヘリテージ財団とウォール・ストリート・ジャーナルが共同で

発表した「The 2018 Index of Economic Freedom World Rankings」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ: <http://www.heritage.org/index/>

1. 「The 2018 Index of Economic Freedom World Rankings」について

「Index of Economic Freedom」(以下経済自由度)は、ワシントンに本部がある米国の保守系シンクタンクのヘリテージ財団(Heritage Foundation)が The Wall Street Journal と共同で毎年公表しており、2018年レポートでは世界180カ国がランク付けの対象となっている。そのうち MENA はシリア、リビア、イラク、イエメン及びパレスチナ自治政府を除く15カ国が評価対象となっている(なおシリア、リビア、イラク及びイエメンはいくつかの個別分野(Pillar, 下記参照)で評価付けされているが、総合ランクはない)。

Index は Pillar と呼ばれる以下の12の分野について各国の自由度に応じた点数評価とランク付けがされ、またそれらを総合したランク付けが行われている。

12の Pillar(分野)

- (1) Property Rights
- (2) Judicial Effectiveness
- (3) Government Integrity
- (4) Tax Burden
- (5) Government Spending
- (6) Fiscal Health
- (7) Business Freedom
- (8) Labor Freedom
- (9) Monetary Freedom
- (10) Trade Freedom
- (11) Investment Freedom
- (12) Financial Freedom

2. MENAトップの UAE は世界10位 (末尾表 7-T01 参照)

MENA15ヶ国のトップは UAE で世界順位は10位と高い評価を得ている。これは同18位の米国より高く30位の日本を大きく上回っている。UAE に次ぐ MENA2位はカタールであり世界順位は29位と UAE とかなり大きな差がある。以下はイスラエル(世界31位)、バハレーン(同50位)までの4カ国が世界50位以内である。これら4カ国に続くのはトルコ(世界58位)、ヨルダン(同62位)、クウェイト(同81位)及モロッコ(同86位)までの8カ国が世界180カ国の上位グループとなる。90位台にはオマーン(93位)、サウジアラビア(98位)、チュニジア(99位)が並んでいる。

MENA 上位10か国の内訳を見るとそのうち6カ国は GCC 諸国(UAE、カタール、バハレーン、クウ

ェイト、オマーン及びサウジアラビア)である。これらの国々は豊かな石油(あるいは天然ガス)の収入により高度な経済社会を実現、欧米の経済システムが浸透しており、経済の自由度が高いと見られているが、UAE とカタールの上位2か国とクウェイト、オマーン、サウジアラビアとの格差は大きい。

MENA12位以下の4カ国はいずれも世界100位以下であるがその順位は以下のとおりである。

エジプト(139位)、レバノン(140位)、イラン(同156位)、アルジェリア(172位)でありアルジェリアの経済自由度は世界180か国中でも最低レベルと評価されている。MENA15カ国の平均世界順位は87位であり世界の間レベルにある。

なお冒頭に述べた通りイラク、シリア、リビア、イエメン及びパレスチナ自治政府は世界ランクの対象外となっている。但しパレスチナ自治区を除く4カ国はいくつかのサブ項目の評価がされているので、後述する項目別世界順位で触れることとする。

ちなみに世界1位は香港であり、米国18位、日本30位、中国は110位である。最下位(180位)は北朝鮮。

3. 分野(Pillar)別の順位(末尾表 7-T02 参照)

経済の自由度を構成する12のPillar(上記1参照)について、MENA 諸国の概要を見ると以下の通りである。

(1) Property Rights(MENA 平均ポイント:47. 2)

Property Right(工業所有権保護)が MENA で最も高いのはイスラエルでポイントは78. 2である。次いでポイントが高いのは UAE(76. 3)でさらにカタール(70. 3)が70点台にあり、バハレーン(62. 1)が60点台で続き、50点台にはオマーン、ヨルダン、トルコ、モロッコ、サウジアラビアおよびクウェイトの6カ国が並んでいる。MENA の平均ポイントは47. 2であり、チュニジア(49. 4)はこれを上回っているが、MENA 平均以下の国はレバノン、イラク、シリア、エジプト、イラン、アルジェリア、イエメン及びリビアの各国である。なお本分野については総合ランク付けの対象になっていないイラク、シリア、イエメン、リビアを含め MENA19カ国が評価付けされている。

(参考:日本86. 0、米国79. 3、中国46. 7)

(2) Judicial Effectiveness(MENA 平均ポイント:46. 3)

Judicial Effectiveness(法制度の有効度)が MENA で1位は UAE(83. 4)、2位はイスラエル(83. 1)であり、この2か国は米国あるいは日本よりも高い世界のトップレベルにある。3位のサウジアラビア(60. 2)以下は UAE、イスラエルよりかなり低く、MENA の平均は46. 3にとどまっている。

(参考:日本73. 2、米国76. 9、中国65. 4)

(3) Government Integrity(MENA 平均ポイント:40. 9)

この分野も UAE(77. 3)が MENA トップで、2位はカタール(71. 6)である。両国は MENA3位の

イスラエル(61. 2)とは大きな開きがあり、更に4位のヨルダン(51. 9)とも格差が大きい。ヨルダンに続いてバハレーン、オマーンが50点台であるが、サウジアラビア(49. 9)以下の13か国は50点未満である。ポイントが最も低いのはレバノン(20. 2)である。

(参考: 日本79. 2、米国71. 9、中国47. 3)

(4) Tax Burden(MENA 平均ポイント: 86. 7)

租税負担(Tax Burden)について MENA 諸国の中で負担が最も軽いと評価されたのはバハレーン(99. 9)である。このほかサウジアラビア(99. 7)、カタール(99. 6)の湾岸産油国はほぼ満点に近いポイントである。このほかオマーン、UAE、クウェイトも90点台後半であり、GCC6カ国が上位を独占している。GCC 各国は所得税がなく、法人税も極めて低い水準である。この分野では日本、米国、中国が70ポイント前後であることに比べ租税負担面での MENA 上位国の優遇ぶりが際立っている。

(参考: 日本67. 4、米国65. 1、中国70. 4)

(5) Government Spending(MENA 平均ポイント: 57. 6)

政府支出(Government Spending)はシリアを除く MENA18カ国がポイント付けされており、点数が最も高いのはイランの91. 1である。第2位はイエメン(80. 9)であるがイランとは大きな開きがある。以下レバノン、チュニジア、UAE 及びモロッコが70点台に並んでいる。MENA の平均は57. 6である。この分野は経済に対する政府の関与が低く民間経済が活発なイスラエルはポイントが低い。

(参考: 日本54. 1、米国56. 5、中国71. 6)

(6) Fiscal Health(MENA 平均ポイント: 43. 3)

MENA の Fiscal Health(財政の健全度)は上下の格差が大きいのが特徴である。トップのクウェイト(99. 3)を始めUAE(99. 0)、カタール(95. 4)などが極めて高く評価された一方、レバノン(0. 0)、エジプト(1. 2)などポイントが極端に低い国も散見される。同じ GCC 加盟国であっても最近国内外で大量の政府債を発行しているサウジアラビアのポイントは19. 7であり、財政の健全度が3カ国に比べかなり低い。

(参考: 日本49. 3、米国54. 8、中国85. 9)

(7) Business Freedom(MENA 平均ポイント: 67. 0)

ビジネスの自由度(Business Freedom)の MENA1位はチュニジアでそのポイントは81. 4である。これに次ぐのはUAE の79. 9で、この2カ国が MENA で高いポイントを得ている。MENA 第3位はオマーン(76. 3)、第4位バハレーン(75. 5)、第5位サウジアラビア(74. 0)、第6位イスラエル(71. 8)、第7位エジプト(71. 5)、第8位カタール(71. 3)が70ポイント以上の国々である。MENA19か国中の最下位はレバノン(48. 8)であり、同国だけが50ポイントを下回っている。

(参考: 日本81. 7、米国82. 7、中国54. 9)

(8) Labor Freedom(MENA 平均ポイント: 57. 6)

UAE は労働の自由度(Labor Freedom)が MENA トップ(81. 1)であり、MENA19カ国の中で唯一8

0ポイントを超えている。同国は米国(91.4)には及ばないものの日本(79.2)よりも高い。UAEに続くのがバハレーン(76.5)である。MENA 第3位のイラク(69.8)以下は70ポイント未満であり、MENAではUAE及びバハレーンの2カ国の評価が飛び抜けて高い。その他のGCC諸国はカタール(65.4)、サウジアラビア(64.8)、クウェイト(61.5)、オマーン(55.2)である。MENAの平均ポイントは57.6であるが、これを大幅に下回る労働の自由度が低い国は、モロッコ、レバノン、リビア、トルコ、アルジェリアの各国である。

(参考:日本79.2、米国91.4、中国61.4)

(9) Monetary Freedom(MENA 平均ポイント:73.4)

通貨の自由度(Monetary Freedom)が最も高いのはヨルダン(88.7)であり、これに次ぐのがイスラエル(85.3)、モロッコ(82.3)、レバノン(81.9)である。一方ポイントが低いのはシリア(44.2)、リビア(56.2)、イラン(59.8)である。

(参考:日本85.4、米国78.6、中国71.4)

(10)Trade Freedom(MENA 平均ポイント:77.2)

貿易の自由度(Trade Freedom)はMENAではイラク、イエメンを除く17カ国が評価されており、ポイントが高いのはオマーン(86.2)、イスラエル(85.5)、レバノン(84.5)、UAE(84.3)、バハレーン(83.4)、カタール(83.3)の各国であり、これらの国は日本(82.3)より高い。一方ポイントが低いのはイラン(54.5)及びシリア(56.6)の2カ国である。

(参考:日本82.3、米国86.7、中国73.2)

(11)Investment Freedom(MENA 平均ポイント:48.3)

投資の自由度(Investment Freedom)がMENAで最も高い国はイスラエル、トルコ及びバハレーンでありポイントは75.0である。これら3カ国に次ぐのがヨルダン(70.0)、次いでレバノン、オマーン、モロッコ(各65.0)である。一方、投資の自由度が低いとされているのはアルジェリア(25.0)、リビア(5.0)等であるが、特にイラン及びシリアは0.0と評価されている。この項目は他の項目に比べてポイントの格差が大きい。なお外国企業が多数進出しているドバイを有するUAEのポイントはMENAの平均(48.3)を下回る40.0でサウジアラビアも同じポイントである。

(参考:日本70.0、米国85.0、中国25.0)

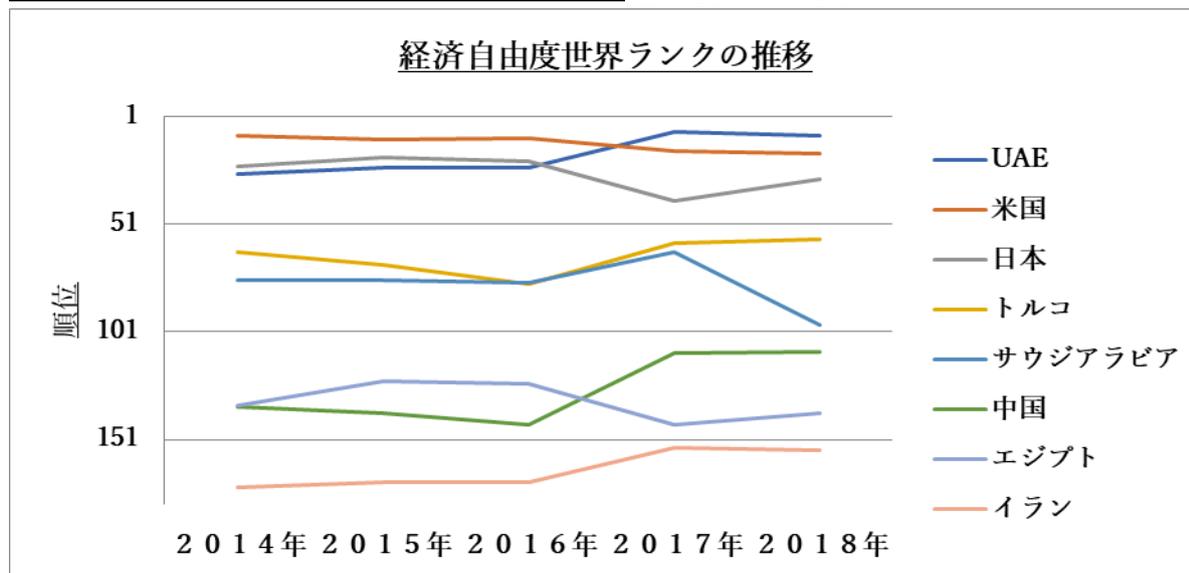
(12)Financial Freedom(MENA 平均ポイント:53.3)

金融の自由度がMENAで最も高いのはバハレーン(80.0)であり、同国のポイントは米国(80.0)と同等で日本(60.0)を上回っている。バハレーンに次ぐMENA2位はイスラエル及びモロッコ(各70.0)である。ヨルダン、クウェイト、オマーン、カタール、トルコ及びUAEの6カ国がポイント60.0で並んでおり、これは日本とおなじポイントである。さらにレバノン、エジプト、サウジアラビアが50.0である。一方、金融の自由度が低いと評価されているのは、イラン(10.0)である。

(参考:日本60.0、米国80.0、中国20.0)

(100位すれすれまで急落したサウジアラビア!)

4. 主要国の世界順位の変遷(2014~2018年)(末尾表 7-T03 参照)



ここでは UAE、サウジアラビア、トルコ、エジプト、イランの5カ国及び米国、日本、中国の過去5年間(2014年~2018年)の世界順位の推移を比較してみる。

2014年には8カ国のうち米国、日本および UAE が上位グループにあり、トルコとサウジアラビアが中位グループ、中国とエジプトが下位グループにあり、イランは世界最下位近くに位置していた。この傾向は2016年まで続いたが、2017年及び2018年に各国の順位が大きく変動した結果、上位3グループはそのままであるが、中位グループのうちサウジアラビアが大きく後退し、下位グループから抜け出した中国と同程度の順位となっている。一方順位を下げたエジプトに対して順位をアップさせたイランが下位グループを形成している。

まず米国、日本及び UAE の上位3か国を見ると、2014年は米国が10位と3か国の中で最も高く、日本は24位、UAE は28位であった。2014年から2016年までの3年間は各国とも世界順位に大きな変動はなかった。しかし2017年には UAE が前年の25位から一挙にベストテンの8位に上昇、これに対して米国は11位から17位に後退、さらに日本は22位から40位に急落した。この結果 UAE は米国、日本を抜き去り3か国のトップとなった。2018年は UAE 及び米国がほぼ前年同様の順位を維持し、一方日本は30位にもどっている。

トルコは2014年の世界64位から2年連続して下落、2016年には79位まで後退したがその後2017年、18年と順位を上げ、2018年には過去5年間で最高の58位となった。サウジアラビアは2014年は世界77位でその後横滑り状態を続け2018年にはトルコと並び、さらに2017年は順位を60位台に上げてトルコと歩調を合わせた。しかし2018年には98位に急落トルコとの格差が大きくなった。そしてかつて2014年にはエジプトと同程度の136位であった中国が前回以降急激に順位を上げた結果、2018年には110位となりサウジアラビアとの差が縮まってきた。

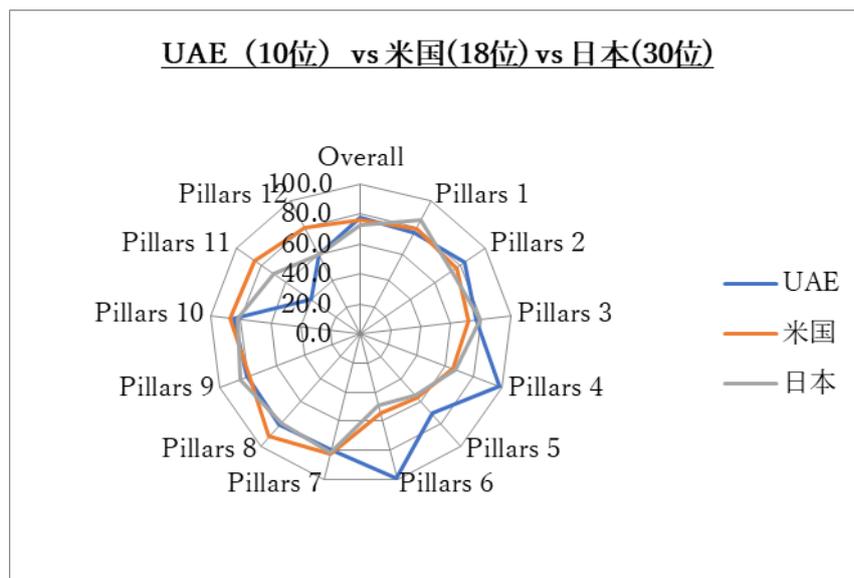
エジプトは2014年に135位で中国(136位)と同じ水準であった。その後、124位(2015年)→125位(16年)と順位を上げたが2017年は中国に追い抜かれて144位に後退、2018年も139

位にとどまっている。イランは2014年から16年まで世界最低レベルの170位台に低迷していたが、経済制裁が解除され穏健派が政局をリードすることにより経済の自由度が改善されたことが評価され155位(2017年)→156位(18年)と150位台に定着、この結果エジプトとの格差がかなり小さくなっている。

5. サウジアラビア、UAE、トルコ、エジプト、イラン5カ国と日米中の比較(レーダーチャート)

今回評価対象となっている MENA 諸国のうち、UAE(世界10位)、トルコ(同58位)、サウジアラビア(同98位)、エジプト(同139位)及びイラン(同156位)の5カ国に米国(同18位)、日本(同30位)、中国(同110位)を加えた8か国の分野別ポイントをレーダーチャートで表してみる。ここでは8カ国を以下の3つのグループに分けて比較検証を行った。なおレーダーチャートは最も外側がポイント100(満点)であり内側中心のポイントは0.0である。そして最上段の Overall が総合ポイントであり、Pillar 1から Pillar 12までは第1項に述べた分野を示している。グラフの実線は外側に広がるほどポイントが高いことを、また真円に近いほど分野のバランスが取れていることを示している。

(1) チャート1(世界上位グループ): UAE、米国、日本



UAE、米国及び日本は総合ランクがそれぞれ世界10位、18位、30位であり日本とUAEはかなり差がある。分野別に見ると米国と日本は Investment Freedom(Pillar 11)、Financial Freedom(Pillar 12)及び Labor Freedom(Pillar 8)の3分野の格差が大きいが、その他の分野ではほぼ似たような傾向を示している。両

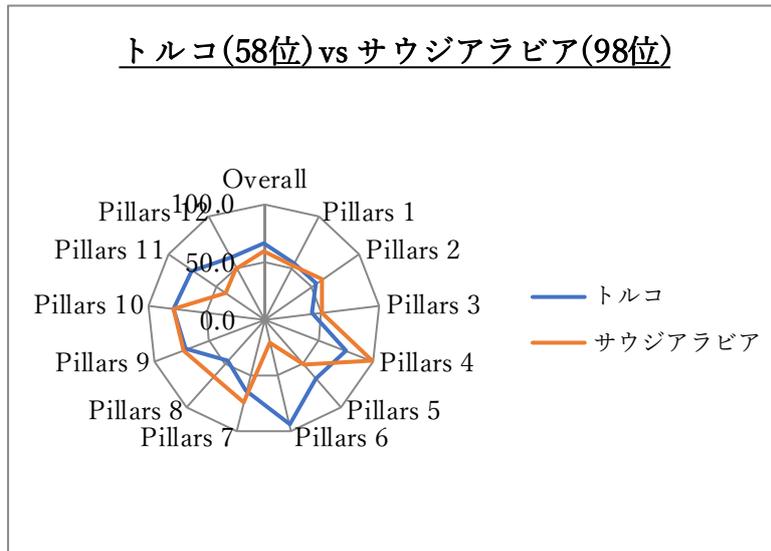
国は多くの分野で高いスコアを示しているが、Government Spending(Pillar 5)、Fiscal Health(Pillar 6)ではポイントが低い。特に Fiscal Health (Pillar 6)では UAE のスコアが99.0に対し、米国と日本のスコアはそれぞれ54.8及び49.3にとどまっている。

UAE は Tax Burden (Pillar 4)及び Fiscal Health (Pillar 6)の2つの項目で日米を大きく上回っているが、一方 Investment Freedom (Pillar 11)では日米よりもかなり悪い。3カ国の中では米国は各項目のポイントが安定しておりムラがない。

(2) チャート2(中位グループ): サウジアラビア、トルコ

世界順位58位のトルコと同98位のサウジアラビアは世界180か国の中で中の中位グループに入る。トルコの各分野別ポイントは60前後のものが比較的多く、Government Integrity (Pillar 3)及

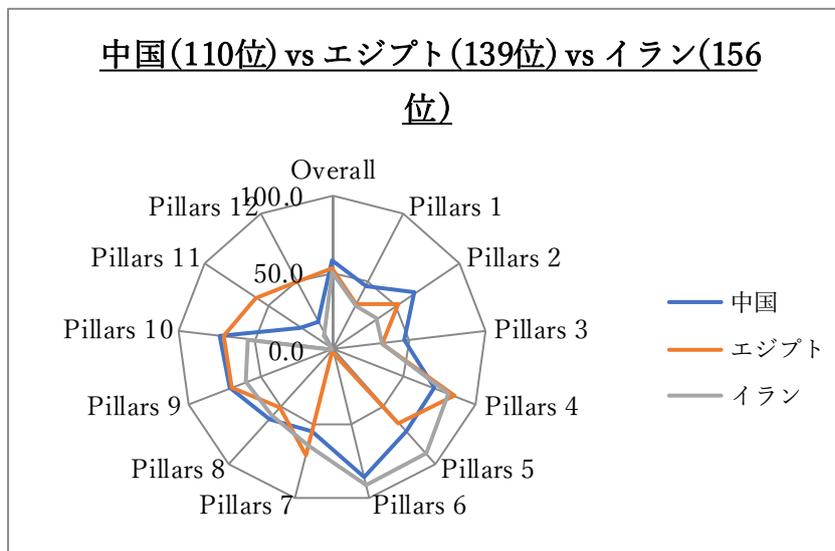
び Labor Freedom (Pillar 8)が低い。そして Fiscal Health (Pillar 6) のポイントが高く比較的均整が取れている。



これに対してサウジアラビアは分野別のポイントの差が大きく、Tax Burden (Pillar 4)のようにほぼ満点の分野がある一方、Government Integrity (Pillar 3)や Investment Freedom (Pillar 11)はポイント数が40台にとどまり、特に Fiscal Health(Pillar 6)はポイントが20以下と非常に悪い。同国は油価が低迷する中で予算の大幅赤字を補うため一昨年以降大量の国債を発行しており、財政の健全性に赤

信号が灯っている。同じ湾岸の産油国である UAE(上記参照)と比較した場合、サウジアラビアはかなり見劣りすると同時に格差が一段と広がっているようである。

(3) チャート3(下位グループ): 中国、エジプト、イラン



中国(世界110位)とエジプト(同139位)及びイラン(同156位)はいずれも経済自由度の世界ランクが低い。分野別では3か国とも Property Rights (Pillar 1) 及び Government Integrity (Pillar 3)のポイントが低い。また Fiscal Health (Pillar 6)は中国(85.9)及びイラン(91.7)が極めて高いのに対してエジプトは1.2にとどまっ

ており格差が大きい。一方 Investment Freedom (Pillar 11)についてはエジプト(60.0)に対し中国(25.0)、イラン(0.0)であり、逆にエジプトが3か国中で最も高い。

3か国とも項目毎のポイントに大きな差がありレーダーチャート全体の形状は UAE、米国、トルコと比べかなりいびつである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界経済自由度ランク(2018年)(対象国数:180カ国)

国名	2018年			2017年			アップ・ダウン		
	世界 ランク	MENA ランク	スコア	世界 ランク	MENA ランク	スコア	世界 ランク	MENA ランク	スコア
UAE	10	1	77.6	8	1	76.9	▲ 2	0	0.7
カタール	29	2	72.6	29	2	73.1	0	0	▲ 0.5
イスラエル	31	3	72.2	36	3	69.7	5	0	2.5
バハレーン	50	4	67.7	44	4	68.5	▲ 6	0	▲ 0.8
トルコ	58	5	65.4	60	6	65.2	2	1	0.2
ヨルダン	62	6	64.9	53	5	66.7	▲ 9	▲ 1	▲ 1.8
クウェイト	81	7	62.2	61	7	65.1	▲ 20	0	▲ 2.9
モロッコ	86	8	61.9	86	10	61.5	0	2	0.4
オマーン	93	9	61.0	82	9	62.1	▲ 11	0	▲ 1.1
サウジアラビア	98	10	59.6	64	8	64.4	▲ 34	▲ 2	▲ 4.8
チュニジア	99	11	58.9	123	11	55.7	24	0	3.2
エジプト	139	12	53.4	144	13	52.6	5	1	0.8
レバノン	140	13	53.2	137	12	53.3	▲ 3	▲ 1	▲ 0.1
イラン	156	14	50.9	155	14	50.5	▲ 1	0	0.4
アルジェリア	172	15	44.7	172	15	46.5	0	0	▲ 1.8
イラク	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
リビア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
シリア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
イエメン	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
(MENA 平均)	87		61.7	84		62.1	▲ 3		▲ 0.4
(全対象国数)									
日本	30		72.3	40		69.6	10		2.7
世界 1 位(香港)	1		90.2	1		89.8	0		0.4
米国	18		75.7	17		75.1	▲ 1		0.6
中国	110		57.8	111		7.4	1		50.4
世界最下位(北朝鮮)	180		5.8	180		4.9	0		0.9

Source:ヘリテージ財団(Heritage Foundation) <http://www.heritage.org/index/>

世界経済自由度ランク項目別(2018年)

			1	2	3	4	5
国名	World Rank	2018 Score	Property Rights	Judicial Effectiveness	Government Integrity	Tax Burden	Gov't Spending
アルジェリア	172	44.7	27.8	35.2	29.0	74.0	45.9
バハレーン	50	67.7	62.1	55.1	51.8	99.9	66.4
エジプト	139	53.4	32.7	52.5	32.2	84.2	65.1
イラン	156	50.9	32.5	35.3	32.6	81.0	91.1
イラク	N/A	N/A	36.7	11.4	23.4	N/A	45.4
イスラエル	31	72.2	78.2	83.1	61.2	60.9	51.8
ヨルダン	62	64.9	57.6	57.3	51.9	92.4	69.4
クウェイト	81	62.2	52.0	53.5	36.6	97.7	20.5
レバノン	140	53.2	39.7	33.6	20.2	91.9	78.2
リビア	N/A	N/A	5.2	22.1	23.1	90.5	0
モロッコ	86	61.9	53.8	44.3	41.3	70.5	70.5
オマーン	93	61.0	59.5	57.4	51.5	98.5	25.0
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	29	72.6	70.3	59.8	71.6	99.6	60.2
サウジアラビア	98	59.6	53.1	60.2	49.9	99.7	52.0
シリア	N/A	N/A	36.7	22.1	23.1	N/A	n/a
チュニジア	99	58.9	49.4	41.7	36.8	73.0	75.5
トルコ	58	65.4	54.7	54.5	42.0	74.7	68.1
UAE	10	77.6	76.3	83.4	77.3	98.4	70.9
イエメン	N/A	N/A	17.9	16.6	21.2	N/A	80.9
(MENA 平均)	87	61.7	47.2	46.3	40.9	86.7	57.6
日本	30	72.3	86.0	73.2	79.2	67.4	54.1
世界1位(香港)	1	90.2	92.5	84.3	82.8	93.1	90.2
米国	18	75.7	79.3	76.9	71.9	65.1	56.5
中国	110	57.8	46.7	65.4	47.3	70.4	71.6
北朝鮮	180	5.8	29.8	5.0	25.2	0.0	0.0

世界経済自由度ランク項目別(2018年)

	6	7	8	9	10	11	12
国名	Fiscal Health	Business Freedom	Labor Freedom	Monetary Freedom	Trade Freedom	Investment Freedom	Financial Freedom
アルジェリア	19.2	68.1	48.7	69.9	63.5	25	30
バハレーン	6.5	75.5	76.5	79.9	83.4	75	80
エジプト	1.2	71.5	51.5	69.6	70.9	60	50
イラン	91.7	64.3	58.2	59.8	54.5	0	10
イラク	11.9	59.1	69.8	79.2	N/A	N/A	N/A
イスラエル	79.0	71.8	65.1	85.3	85.5	75	70
ヨルダン	27.7	63.0	58.9	88.7	82.0	70	60
クウェイト	99.3	57.2	61.5	73.7	79.1	55	60
レバノン	0.0	48.8	44.2	81.9	84.5	65	50
リビア	19.9	63.5	45.9	56.2	80.0	5	N/A
モロッコ	60.6	69.6	36.0	82.3	79.4	65	70
オマーン	17.7	76.3	55.2	79.2	86.2	65	60
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	95.4	71.3	65.4	75.0	83.3	60	60
サウジアラビア	19.7	74.0	64.8	73.8	78.2	40	50
シリア	13.8	61.8	59.2	44.2	56.6	0	N/A
チュニジア	61.6	81.4	52.9	77.2	82.1	45	30
トルコ	93.6	63.3	47.6	72.3	78.6	75	60
UAE	99.0	79.9	81.1	80.2	84.3	40	60
イエメン	5.4	52.7	52.1	66.6	N/A	50	N/A
(MENA 平均)	43.3	67.0	57.6	73.4	77.2	48.3	53.3
日本	49.3	81.7	79.2	85.4	82.3	70	60
世界1位(香港)	100.0	96.3	89.4	84.3	90.0	90	90
米国	54.8	82.7	91.4	78.6	86.7	85	80
中国	85.9	54.9	61.4	71.4	73.2	25	20
北朝鮮	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0	0

世界経済自由度世界ランク(2014~2018年)

国名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
アルジェリア	146	157	154	172	172
バハレーン	13	18	18	44	50
エジプト	135	124	125	144	139
イラン	173	171	171	155	156
イラク	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
イスラエル	44	33	35	36	31
ヨルダン	39	38	46	53	62
クウェイト	76	74	74	61	81
レバノン	96	94	98	137	140
リビア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
モロッコ	103	89	85	86	86
オマーン	48	56	52	82	93
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	30	32	34	29	29
サウジアラビア	77	77	78	64	98
シリア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
チュニジア	109	107	114	123	99
トルコ	64	70	79	60	58
UAE	28	25	25	8	10
イエメン	123	133	N/A	N/A	N/A
(MENA 平均)	82	81	79	84	87
米国	10	12	11	17	18
日本	24	20	22	40	30
中国	136	139	144	111	110